

経済労働分野のキャリアプラン

分 野	経済労働分野
職務内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 産業振興、科学技術振興、中小企業支援関係事務 ・ 労働環境整備、雇用対策、産業人材育成関係事務 ・ 観光振興、国際会議等誘致関係事務 ・ その他経済労働関係事務 ・ 各種調整事務
主な配属先	<ul style="list-style-type: none"> ・ 経済産業局、労働局、観光コンベンション局 本庁各課 ・ 経済産業局、労働局 地方機関 ・ 関係団体等への派遣
めざす職員像	経済労働分野で高い専門知識と情報収集・分析能力を持ち、事業全体を多角的な視点で見渡すことができ、迅速かつ円滑に課題を解決する能力がある職員
育成の考え方	
<p><主事級（ジョブローテーション期間）> 【職員としての基礎固め】 ジョブローテーション期間中に、本庁を含め様々な業務を経験し、県の仕事の全体像を把握するとともに、個の能力を高めていく。また、関係団体等への派遣を通じ、県とは異なる立場からの視点を身につける。</p> <p><主事級（ジョブローテーション期間終了後）～主任級> 【キャリアの軸探し】 局の主管課等、全庁的な調整を行う所属を経験して庁内の調整、政策立案の基本を身につけるとともに、今後のキャリアの軸を探すために、多様な業務を経験し、自らの適性を考えつつ、専門能力を高めていく。</p> <p><主査級・課長補佐級> 【実務の要＋グループ運営の補佐】 実務の要としてグループの主要業務を担うとともに、主体的に企画・立案を行い、事業を推進する。 また、グループの中核として、円滑な業務推進や困難な課題の解決に取り組むことで、将来の管理的立場を見据え、高度な調整業務を経験する。</p> <p><課長補佐級（班長）> 【グループマネジメント力の発揮】 これまでに習得した知識・経験・能力等を活かすことができる経済労働分野の各グループ班長として、組織力を発揮して業務を推進する。</p>	

《経済労働分野のキャリアイメージ》

区分	経済労働分野		キャリアプラン例①	キャリアプラン例②	キャリアプラン例③
	異動・配属の考え方	必要とされる知識・能力			
新規採用	【職員としての基礎固め】 □共通口 ・複数の所属の業務に従事し、今後、職員としてキャリアを積んでいくための基礎力を身につける。 ・早期に本庁を経験し、県の仕事の全体像を把握する。 <ジョブローテーション期間中における、配属又は異動の考え方> 県の仕事の全体像を把握し、幅広い視野や知識・能力を習得するとともに適性を見出すため、採用後2回の異動で下記の①から③までの内容を経験できるよう計画的に異動を行う。 ① 複数の局を経験する。 ② 可能な限り、採用3年目までを目途に本庁を経験する。 ③ 3ヶ所の所属を経験する。 ※異なる職務分野を経験することを原則とする。 ■分野特有■ ・幅広い視野、多面的な考え方や説明力を身につける。 ・関係団体等への派遣を通じて県以外での業務を経験し、県とは異なる立場からの視点を身につける（関係団体派遣、民間企業派遣研修、省庁派遣等）。	①仕事の正確さ ②積極性 ③規律 ④チームワーク 【期待される事務レベル】 ・担当事務に係る予算執行、支出事務 ・事業の検討資料の作成 ・課内照会、庶務業務への対応	採用所属（地方機関）	採用所属（本庁）	採用所属（地方機関）
主事級 (採用後7年間)			【キャリアの軸探し】 □共通口 ・ジョブローテーション期間中に身につけた基礎力を高め、新たに行う業務に応用する。 ・キャリアの軸が定まっていなかった場合は多様な業務を経験し、自分の適性を見出す。 ・キャリアの軸が定まった場合は、特定の業務に継続的に取り組み、自らの強みを形成する。 ・班長、主査等からの指示に基づいて幹部相談資料等の作成を行い、資料作成力や相談力を高める。 ■分野特有■ ・特定の分野の業務に従事しながら、 <u>内部管理や事業等、自分の適性を確認する。</u> ・局の主管課等、全庁的な調整を行う所属を経験し、庁内の調整・政策立案の基本を身につける。 ・県以外での業務を経験し、幅広い視野、多面的な考え方や対外的な調整・説明力を身につける（関係団体派遣、民間企業派遣研修、省庁派遣）。	①判断力 ②創意工夫 ③責任感 ④後輩育成 【期待される事務レベル】 ・定期的なイベントや有識者会議等の開催 ・幹部相談資料の作成 ・担当事務に係る予算要求	採用所属（地方機関） ↓ 経済産業局中小企業部 商業流通課 街づくりG ・分野内本庁 ・事業 ↓ 経済産業局産業部 産業政策課 広報・企画調整G ・分野内本庁 ・全庁的な調整 ↓ あいち産業振興機構 総務企画部 総務・予算経理G ・関係団体への派遣 ・幅広い視野、多面的な考え方を身につける ↓ 労働局就業促進課 若年者雇用対策G ・分野内業務 ・多様な業務経験
主事・主任級 (採用8年目から主査級昇任まで)	【実務の要+グループ運営の補佐】 □共通口 ・実務の要として、グループの主要業務を担う。 ・主体的に知事相談資料や議会答弁の作成を行い、説明力を高める。 ・キャリアの軸が定まっている場合は、新たな業務を経験し、キャリアの幅を広げる。 ・キャリアの軸が定まっていなかった場合は、特定の業務に継続的に取り組み、自らの強みを形成する。 ・1度経験した所属(業務)を再度経験し、当該業務の遂行能力を高める。 ・班長を補佐し、全体の調整役として、円滑なグループ運営に貢献する。 ・将来の管理的立場を見据え、高度な調整業務を経験する。 ■分野特有■ ・新規事業等の企画・立案、関係者との調整を主体的に行う。 ・民間企業や各種団体等と調整・交渉を行う所属で各種事業の制度設計・運用等を行い、より高度な調整力や対外折衝力を身につける。 ・関係団体等への派遣を経験し、マネジメント力や調整・折衝能力等を向上させる。	①改革・改善 ②説明・調整力 ③見識 ④使命感 ⑤人材育成力 【期待される事務レベル】 ・事業実施に向けた関係者との実務的な調整・交渉 ・大規模なイベントや重要な会議の企画・開催 ・知事相談・報告資料の作成 ・知事レクや議会関係事務の対応	経済産業局産業部 産業振興課 繊維・窯業・生活産業G ・民間企業や各種団体等と調整・交渉 ↓ 経済産業局革新事業創造部 イノベーション企画課 事業創出G ・新規事業等の企画・立案 ↓ 経済産業局産業部 産業政策課 広報・企画調整G ・高度な全庁調整 ・2回目の所属経験 ↓ 経済産業局産業部 産業振興課 繊維・窯業・生活産業G (班長) ・これまでの知識・経験を活かす(産業振興)	労働局労働福祉課 企画・勤労福祉G ・高度な全庁調整 ・議会関係事務への対応 ↓ 労働局労働福祉課 予算・経理G (班長) ・これまでの知識・経験を活かす(各種調整)	観光コンベンション局 観光振興課 総務・予算・広報G ・分野内本庁主管課 ・局内及び全庁的な調整 ↓ 都市・交通局航空空港課 利用促進G ・分野外事業課 ・主要事業の遂行 ↓ 観光コンベンション局 国際観光コンベンション課 イベント・コンベンションG ・分野内主務課筆頭G ・大規模イベントの企画 ↓ 観光コンベンション局 観光振興課 企画G (班長) ・これまでの知識・経験を活かす(観光振興)
主査級 課長補佐級			【グループマネジメント力の発揮】 ・これまでに習得した知識・経験・能力を活かせる経済労働分野の各グループ班長として、組織力を発揮して業務を推進する。	①調整・折衝力 ②情報収集・活用 ③リーダーシップ ④人材育成・指導力	
課長補佐級 (グループ班長)					

ジョブローテーション

知識・能力を習得・発揮